

2026年度 SYLLABUS 【博士後期課程】

授業科目名	演習 I		
担当教員名	金子 輝雄		
ディプロマ・ポリシー (DP) との関係			
	DP1	DP2	DP3
	○	○	○
科目のテーマ	<p>企業会計制度・法人所得課税制度に関する研究</p> <p>修士論文等のこれまでの研究成果をさらに発展させるために、財務会計制度または法人所得課税制度における諸問題に関する理論研究を行う。</p>		
科目内容・方法等	<p>履修者と相談・議論しながら以下の内容を検討する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 博士論文の執筆に向けて大まかなテーマないし方向性を決める。 2. いくつかの論点をピックアップし、関連付けと研究の優先順位を決める。 3. 年度計画を練り、研究活動に着手する。 4. 本年度の研究テーマに関する先行研究を丁寧に検討する。 <p>最近の社会・経済状況等を考慮し、文章化を通して自身の見解を形成する。</p>		
到達目標：			
学会での研究報告および学会誌への投稿を見据えた研究を行う。			
評価方法及び評価基準：			
課題に対する取り組みと討論の状況による。			
60点未満をF、60～69点をC、70～79点をB、80点以上をAとし、C以上の評価に単位を与える。			
＜各評価の基準＞			
A評価：授業内容を応用できるのみならず、批判的にとらえることを含めて、当該理解をさらに発展させられること			
B評価：授業内容の理解に基づいて、より広いケースにその理解を応用できること			
C評価：授業内容について、概ね理解していること			
授業の方法：			
文献の輪読と討論。			